新学部設置　現代社会学部　現代社会学科

ビジネス社会コース　メディア社会コース　環境共生社会コース

Shall We Dance?

筑紫女学園大学
短期大学部
同窓会会長

石川　昭子

会員の皆様こんにちは。

二〇一五年が明けてから、あまりにも恐ろしい憂える事件が続いていますが…。折角の皆様に一年ぶりの「紫友」の挨拶です。明るく元気にやりたいと思います。

今回のテーマは「今、学生に戻れたら」。学生時代を思い出すと懐かしい友や先生方の顔が浮かびます。私は短大家政科二回生です。二年間の学生生活は「あっという間」短くて早かった…。中・高も筑女だったので短大になっても男子がいない環境に違和感は全くなく、高身長故か、男子学生の代用品の如く様々な役割（外渉、部長、応援団etc）を担いました。上に三人の兄がおりましたので、男役はお手の物？だったのかもしれません。お陰様で社会に出ても男性社員に怖じける事もなく仕事できたと思います。部活動も数は少なく、仲間と「団体ダンス部」を創設しました。奇妙な名前ですが「社交ダンス」は許可が下りず、「フォークダンス」だけにはしたくないと考え「団体」を付けました。心残りは「社交ダンス」を取り入れられなかった事です。各大学には既にパートナー校があり、踏み込めなかったのです。勿論、学校側からもお許し頂けなかった事でしょう。

「今、学生に戻れたら」四年間の学生生活できちんと社交ダンスを身に付けて、「Shall We Dance?」細やかな夢です。皆さんは如何でしょうか？是非お考えください。

総会の講師は、永年、紫友会顧問をなさって下さった橘英哲先生です。六月二十一日ホテルオークラでお会いしましょう!!

現代社会学部の新設について

筑紫女学園大学
現代社会学部長

赤塚　睦男　先生

こんにちは。皆さんのなつかしい顔が浮かびます。

さて、マスコミ等を通じてご存じの方も多いでしょうが、この四月、筑紫女学園大学としては三番目の学部、現代社会学部が誕生します。

この学部では、社会学を基礎としてビジネス・メディア・環境共生の切り口から現代社会を学びます。これだけでも、「これまでの筑女と違うな」と思われるのではないでしょうか。もう一つの特徴はアクティブ・ラーニングと呼ばれる授業方法にあります。教師の講義をひたすらノートに取る知識重視型の授業だけでなく、たとえば学生みずからがチームを組んで、（時に学外に出て）課題を見つけ調査して解決方法を探るといった実践型授業を多く取り入れています。

私が短期大学国文科に勤め始めたのは昭和五十九年。その直後に男女雇用機会均等法が施行されました。あれから三十年。皆さんにはまだまだご苦労がおありでしょうが、肯定的な意味において女性の社会的立場は変わりました。

人間の仕事は機械に取って代わられています。専門知識が必要な技能も、コンピュータソフトの発達で素人でもこなせるようになりました。この時代に求められるのは、人にしかできない、人とコミュニケーションを取りながら柔軟に判断し実行する能力です。この変化が女性の社会進出を大きく後押ししています。アクティブ・ラーニングによって現代社会学部が育てようとするのは、そういう能力を持った女性です。

学部そのものの内容を詳しく語ることはできませんので、大学ホームページや学部フェイスブック（https://www.facebook.com/CJ.gensha）をぜひご覧ください。

それでは皆さん、ごきげんよう。

題字　本学園元顧問
故　干潟　龍祥先生書

筑紫女学園大学
短期大学部同窓会

紫友会事務局
〒818-0192
太宰府市石坂2丁目12-1
筑紫女学園大学・短期大学部内
飛翔会館2F
TEL&FAX（092-929-4603）
〔月～金 10：00～16：00〕
印刷（有）森田印刷所

第48回紫友会総会御案内

日　時／**6月21日（日）**11：00～14：30
（受付開始時間 10：30～）

場　所／**ホテルオークラ福岡（平安の間）**
福岡市博多区下川端3-2
TEL.092-262-1111

会　費／5,000円　新卒会員1,000円

第一部／**総　会**　11：00～11：30
会計報告・事業報告・その他

第二部／**講　演**　11：30～12：30
「思い出片々（へんぺん）」

筑紫女学園大学名誉教授
浄土真宗本願寺派法蓮寺前住職
橘（たちばな）　英哲（ひであき）　先生

第三部／**懇親パーティ**　会食 12：50～14：30

出席予定の先生方（敬称略）　3月末現在の出席予定

理事長	笠　信曉	学長	大村　英昭
副学長	若原　道昭	副学長	中川　正法
事務局長	金子　修三		
現教員	小野　望	松下　博文	出雲　俊江
	石井　康仁	中村　テーマ	D.J.Wood
	小林　知美	赤塚　睦男	浅田　淳一
	速水　良晃	岡本　文子	髙山百合子
旧教職員	名本　幹雄	國枝　鑛造	橘　英哲
	石橋美恵子	松田　昌子	戸丸　敦子
	村上　五一	塚本　桂子	佐伯　蓉子
	永淵　道彦		

＊今回当番幹事は短大28、48、49回生、大学文学部3、23、24回生、大学人間科学部1回生、大学院6、7期生です。
＊当日お車でお越しの方は、ホテル駐車場をご利用ください。

●締切日（5/31）以降の申し込みおよび変更は紫友会迄（TEL&FAX092-929-4603）
出席申込を頂いた方で当日連絡なく欠席の場合は、恐れ入りますが後日紫友会宛に会費をお振込み下さい。

■振込先
金融機関:ゆうちょ銀行　預金種目:当座預金
店　名:一七九（イチナナキュウ）　口座番号:0044769
店　番:179　口座名義:筑紫女学園大学・短期大学部同窓会紫友会

この会報には、100%再生紙と大豆天然インキを使用しています。

紫友会事務局だより

■第47回紫友会総会報告

第47回紫友会総会は6月14日（土）筑紫女学園大学・飛翔会館に於いて盛大に開催されました。当日は、晴天に恵まれ、たくさんの同窓生や同窓教員の皆様が、遠くは千葉県、広島県、各地より参集頂きました。第一部の総会では、前年度活動報告や予定、会計報告や予算案そして会則の一部改定など各議案が承認されました。第二部は筑紫女学園大学名誉教授、小山一行先生による講演「不如意の世を生きる」。学生時代に先生のお話を聞いていた同窓生は久しぶりの講義。瞳はキラキラと学生時代にタイムスリップしているようでした。若き日に仏教に出逢ったことの意味。それは、精神の地下水となっていたことに気づかされる、有意義な時間となりました。第三部は懇親パーティ。美味しい料理をゆっくりと堪能しながら、なつかしい先生、同窓生との楽しい一時を過ごしました。

来年、再来年も沢山の同窓生が笑顔で再会出来ることを願いながら第47回紫友会総会は盛会にて終了しました。

第47回紫友会総会_参加者

小山先生講演

●総会議決内容

◎第一号議案
平成25年度活動報告及び
平成26年度活動予定
◎第二号議案
平成25年度会計報告及び
平成26年度予算
◎第三号議案　会則の改定
第9条:卒業時の幹事数は「各学科（専攻）より2名」とする。
第21条:（2）協力費（1口1000円）納入は「卒業後毎年納入」とする。
※改定した紫友会会則は大学ホームページでもご覧いただけます。

紫友会会計報告

平成25年度決算［一般会計］
自：平成25年4月1日　至：平成26年3月31日

摘　要

【収入の部】	決算額
前年度繰越金	29,770,833
入会会費（10,000×754名）	7,540,000
協力費（282件）	537,000
預金利息	5,788
雑収入	344,000
合　計	38,197,621

【支出の部】	決算額
総会費	1,261,028
印刷製本費	1,569,660
通信費	1,653,602
支払手数料	36,985
会議費	396,830
事務経費	1,830,950
アルバム代	16,800
入学記念品費	386,400
備品費	150,150
慶弔費	297,525
消耗品費	64,955
雑費	62,435
奨学金基金へ繰出	1,000,000
特別会計へ繰出	1,000,000
特別会計へ繰出（大学開学50周年事業）	1,000,000
次年度繰越金	27,470,301
合　計	38,197,621

平成25年度決算［特別会計］
自：平成25年4月1日　至：平成26年3月31日

摘　要

【収入の部】	決算額
前年度繰越金	5,307,454
一般会計より繰入	1,000,000
一般会計より繰入（大学開学50周年事業）	1,000,000
預金利息	1,088
合　計	7,308,542

【支出の部】	決算額
在学生就職活動支援	1,000,157
次年度繰越金	6,308,385
合　計	7,308,542

平成25年度決算［奨学・奨励金基金］
自：平成25年4月1日　至：平成26年3月31日

摘　要

【収入の部】	決算額
前年度繰越金	10,325,309
一般会計より繰入	1,000,000
奨学金・奨励金基金（150件）	1,321,000
預金利息	1,993
合　計	12,648,302

【支出の部】	決算額
紫友会学生支援奨学金・奨励金給付	801,784
次年度繰越金	11,846,518
合　計	12,648,302

☆協力費及び奨学金・奨励金基金協力のお願い☆

紫友会では毎年、協力費（同窓会活動運営費）及び奨学金・奨励金基金(在学生支援の一環)への協力金としていずれも1口1,000円（何口でも可）をお願いしております。これらは同窓会としての安定した会の運営や在学生支援の為に大いに活用されております。ぜひとも皆様方のお力添えを賜りたく、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。
協力費及び奨学金・奨励金基金協力は次の2通りの方法で随時受け付けております。
①同封の振替用紙にて郵便振替
他銀からのお振込の場合⇒金融機関名:ゆうちょ銀行
店名:一七九（イチナナキュウ）
店番:179　預金種目:当座預金
口座番号:0044769
加入者名:筑紫女学園大学・短期大学部同窓会紫友会
②総会会場又は紫友会事務局にて受付
前回ご協力いただいた皆様に紙上をもってお礼申し上げます。
なお、電話によるご協力の依頼は行っておりません。
※6面に関連記事

■平成26年度 紫友会奨学金・奨励金給付

【奨学金】　2名
【奨励金】　●書道部
●フィルハーモニー管弦楽団

■同窓会をしませんか

総会に併せて、クラス会やサークルのOG会、ゼミ同期会などを開きませんか?紙面を利用して呼びかけるなど、紫友会事務局がお手伝い致します。ご活用頂き、紫友会会員相互の親睦が深まることを期待しています。ご希望がありましたら、事務局までご相談ください。

■当番幹事について

平成28年、第49回紫友会総会の当番幹事は短大29回生・大学4回生（1995年卒）、短大49回生・大学文学部24回生・大学人間科学部1回生・大学院7期生（2015年卒）、及び新卒幹事（2016年卒）の方になります。事務局よりご案内のハガキを送付致しますので幹事会にご出席頂きますようお願い致します。

あとがき

今号のテーマ「今、学生に戻れたら」はいかがでしたか。しばし学生気分に戻り、懐かしい思い出や、今だったらこんなことに挑戦してみたい。など、思いを巡らせていただけたのではないでしょうか。今年も6月に総会を開催します。ぜひ足をお運びいただき恩師の先生方や学友たちとの話に花を咲かせてください。また、会員の皆様のご活躍・近況を事務局にもお寄せください。

お願い

卒業時の住所データ及び返信葉書に書かれた住所が紫友発送の資料となります。個人情報は同窓会活動以外では使用致しません。紫友の届かない同窓生をご存知の方は、事務局までお知らせ頂きますようお伝えください。
なお、名簿の管理には充分慎重を期しております。紫友会事務局以外から同窓生へ連絡することはありませんので、くれぐれもご注意ください。

■役員紹介（平成26年度）

会長	石川　昭子	家政	2
副会長	伊佐　元子	家政	1
〃	大賀由加里	日文	5
会計	後藤　安代	英文	2
〃	関　江利香	国文	27
書記	酒井由美子	心理	15
常任幹事	加藤　千代	家政	2
〃	森山　クミ子	家政	2
〃	仲野　抄子	日文	21
〃	阿部　美樹	家政	30
〃	矢幡　聡子	家政	24
〃	安田　香織	家政	20
会計監査	平野　祥子	幼教	18
〃	福留喜久子	英語	1

■【筑紫女学園報】送付について

学園発行の学園報は大学・短期大学部だけでなく、学園全体の様子をお伝えしているものです。紫友会では学園報を希望される方にお配りしたいと思います。角2封筒（33×24cm位）に送付先の郵便番号・住所・お名前をご記入の上、140円切手を貼って、紫友会事務局までご送付下さい。最新号をお送り致します。
又は学園ホームページでもご覧頂けます。
http://www.chikushi.ac.jp/gakuenhou/

紫友会から在学生へ

～「就職情報誌 avenir」贈呈～

紫友会では、在学生への支援活動の一つとして、冊子「avenir」を、毎年発刊しています。
就職活動を控えた大学3年生及び短大部1年生の全員に配布しています。就職活動を体験した先輩から後輩へ贈られる正に取れたてのライブ感溢れる貴重な情報の集まりで、就活に臨む心意気までも伝えてくれています。業種別採用試験の報告書や過去5年間の就職先一覧など、盛りだくさんの内容は、今年も学生の就職活動に大いに活用されています。

就職情報誌 avenir

平成26年10月19日（日）
保護者も参加しての就職ガイダンスにて

こんにちは
～今、学生に戻れたら～

『夢』を持ってみたい

■文学部・英語メディア学科
教授　吉野　嘉高　先生

これまでに「夢」というものを持ったことがありません。小学生の頃、「将来の夢」というテーマの作文に困り果てましたし、大学時代の就活でも、特定の企業への入社という「具体的な目標」しかありませんでした。

だからこそ、学生に戻れたら、若者らしい「夢」を持つことに憧れます。しかし、今学生になったつもりで考えても、残念ながら「夢」が思い浮かびません。

結局、僕にとって「夢」とは「具体的な目標」の積み重ねの先に透けて見えてくる漠然としたイメージだということに今気づきました。例えば、僕が日々「具体的目標」を設定している授業で、学生が何かを発見し、卒業後に何らかの形で社会に還元していく……

それが僕の「夢」見るイメージです。

最近、「夢」にこだわり過ぎている学生は多く、自分の足元が見えず悩んでいます。そんな学生に対して、僕はこうアドバイスしたいです。

「まずは、現実的な『具体的な目標』を掲げてクリアしてみよう。その先に『夢』が見えてくるかも」。

豊かさの中に

■文学部・日本語・日本文学科
准教授　出雲　俊江　先生

「今、学生に戻れたら」。もう少し前でしたら「もっと勉強すればよかった」とか「ああすればよかった」「こうしなければよかった」とか、次々と浮かんできたように思います。でもこの頃ちょっと違ってきました。あの頃の全部が、若くて何もわかっていなかった私の学生時代そのものとして、いとおしく思えるようになってきたのです。勉強に不熱心だったことも、思い通りに行かなかったことも、恥ずかしい失敗も。

考えてみれば、いたらない私でしたのに、学生時代はとても豊かでした。

学生時代に出会ったたくさんの方々のことを今も思いだします。迫力のある文学の先生、中国人の先生の幼い頃のお話、俳句会の先輩方。下宿の大家さん、お風呂屋さん。

気づかずに通り過ぎたあの頃のあれこれは、今の私の毎日にどこかでつながっています。そして今のあれこれは、この先の何かに。今の私もきっと、あの頃と同じように、あふれるほどの豊かさの中にあるのだと思うこの頃です。

今、学生に戻れたら

■文学部・アジア文化学科
教授　大津　忠彦　先生

指定のお題は「戻ったら」ではなく、「きっとやり残していたであろう諸事に再チャレンジの好機、学生に戻れたらさて何を?」の意。学生、といっても「大学・大学院」生より前は、正直なところ、望みませんネェ。あまりに細々と「縛り」ばかり多かったので。ウーン…あり過ぎて迷う。というのも、私の地味な学生時代は、どういうわけか特定の事に没入。結果、手付かず・未完の山積状態だからです。

敢えておのれを鼓舞して、いろいろ想いを巡らしてみました。あれこそ、いや、これだ、でも…。この優柔不断は、やはり「師や友と語らうなかにトップリと浸っていたい」が保障されないと難しいだろう、との想いからでしょう。学生だからこそ赦される独特の甘え、「お目玉を食う」、「やり直し」の大いに叶う、あの形容しづらい心地良さのなかにこそ「初期化」されればそれで充分、と願うところです。

あなたに会いたい

■文学部・英語学科
教授　中村　テーマ　先生

ある日授業が終わって研究室に戻ると卒業生が待っていました。彼女は中村良廣先生が亡くなったことを知らず、彼を訪ねてきたのです。私たちは筑女のこと、良廣先生のこと、彼女の今の生活について語り合いました。卒業して約二十年、大学で学んだことがいかに大切なことであったかということに気づいた彼女は、良廣先生に感謝の気持ちを伝えたかったのだそうです。私は彼女に私の本“Gift”にエッセイを書いて欲しいと申し出ました。二方で今、同僚の先生と三人の卒業生の力で良廣先生の業績を本に纏めています。準備のため大学を訪れた卒業生たちと、学生時代の思い出、筑女で学んだこと、現在のことについて多くのことを話しました。彼女たちは今、筑女がどれほど大切な場であったかを実感しています。皆さんもぜひ来てください。オープンキャンパスでも、同窓会でも、もちろんただ顔を見せてくれるだけでも構いません。私たちは皆さんと会えることをいつも楽しみにしています。

一万時間の壁

■人間科学部・人間科学科・人間関係専攻
准教授　持尾　弘司　先生

もしも今学生に戻ることが出来るのなら、「一万時間の壁」に挑戦してみたいと思う。

「一万時間の壁」とは、訓練時間こそが一流の「プロ」とそうでない者とを分け隔てるというもので、例外なく「万時間がその閾値であるとする。一九九〇年代に心理学者のエリクソンによって明らかにされた。（当該論文は現在ネット経由で取得出来る）今世紀になって米国のコラムニストM・グラッドウェルが自身のベストセラー「Outliers」で紹介したこともあり、知る人も多いことと思う。

さて、この一万時間の訓練、実行するにはどのくらいの年月が必要だろうか。一日に八時間週休二日で「労働」すると四年で八千四百時間…何やら示唆的な数字である。因みに、原論文では一万時間は一流の壁で、プロの壁は八千時間としている。つまり、学生時代をフルに使えば少なくともプロには成れる訳だ。

ところで、そうやって一体何のプロに成るつもり?現職と関係あるの?それは内緒！

あのときに戻れたら、いっしょに踊ります

■人間科学部・人間科学科・人間形成専攻
教授　古賀野　卓　先生

人生は後悔の連続です。思い出したくないエピソードをひとつだけ。大学院の学生だった頃、留学生のお世話係をしていた関係で、ある留学生のグループと親しくなりました。毎日のように誰かの家で食事をしたり、お酒を飲んだり、ゲームをしたり。若くて美しい女性ばかりで、まるで夢のようでした。

ある日、いっしょにディスコに行ったときのこと。私にとってはディスコ初体験。嫌な予感。当時はチークタイムといって男女が抱き合って音楽に合わせてゆらゆらする時間がありました。ドイツ人の女性から「タク、いっしょに踊ろう」と手を差し出された時、思わず「いやあ、無理」と断ってしまいました。その行為はとんでもないことだったらしく、それ以来、みな口を聞いてくれなくなりました。

夢のような日々、終了。あのときに戻れたら、言います。ニッコリ笑って「もちろん」って。

今、学生に戻れたら

■大学院・人間科学研究科
三期生（二〇一一年卒）　尼寺　織江

私は筑紫女学園大学に四年間、そして、大学院に二年間在籍させて頂きました。私の人生におきまして、この六年間は輝く宝石のような年月であったと思います。良き先生方との出逢い、お世話下さった学内の職員の方々との出逢い、沢山の友達との出逢い、このご縁に心から感謝しております。そして何より私を育んでくれたものは大学の講義の数々です。今振り返ると、それら全てが私の基礎基本となっています。

現在、高等学校の教員として、大学で学ばせて頂いたことや思いを、次の世代に伝えていこうと、日々子ども達の育成に努めています。学生時代に学んだことは私自身の自信となり、揺るぎない価値観となって私を支えているものだと確信しています。

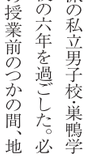
私自身、まだまだ学び足りない所も沢山あったように思いますが、今言えることは、学び舎における貴重な時間の流れを無駄とせず、修めるべき勉学をきちんと体得し、前向きに頑張ることです。

今学生に戻れたなら、また新たな課題を見つけてチャレンジしていくことでしょう。

これから先も筑紫女学園大学で学ばせて頂いたことに心から感謝し、また出逢ったご縁を大切にして行きたいと思います。

今、学生に戻れるなら

■短期大学部・現代教養学科
准教授　小川　暢祐　先生



いわゆる硬派の私立男子校・巣鴨学園で、中学高校の六年を過ごした。必修だった剣道の授業前のつかの間、地下の更衣室で、袴姿の同級生たちと隠微な「影絵遊び」に興じた校舎は数年前に建て替えられてしまったが、想念はあの頃にたゆたう。世間知らずながら二応の学習力はある少年達は、行為と発言の規範を『ヤンジャン』に採り、白昼の教室内には、奇妙にリアルなマンガワールドが現出していた。

女子がいなければいないで、趣味嗜好や心身の発達程度に応じ、役割分化は自ずと生じる。料理作りとミルフィーユを愛し、吹奏楽部と文芸部を掛けもちするナルシス。その延長線上にある今の僕には、男女どちらの性からも風変わりに見られているような居心地がこそばゆい――そんな寓話と鏡像を思い描きながら、もし戻れるならの空想に耽る。

女子／男子教育の理念は、二項対比から異種間の接触と受容・相対化へ、そして絶対平等へ、と向かう次の段階に何時か至るのだろうか。「もし右の手が悪をさせるのなら、右手を切って捨てよ。体の一部がなくなっても、全身が地獄に落ちないほうがましである」（マタイによる福音書、五章三十節）。それを超えた処に、両手もて善を成さしめんとする宗教的地平が展開していてほしいと、私は考える。

一人旅のススメ

■文学部・日本語・日本文学科
二十二回生（二〇一三年卒）　齊藤　愛美

もしも、私が今、学生に戻れたら一人旅に挑戦したいです。なぜなら、一人旅はその人自身を成長させてくれるからです。一人旅では何か困ったことがあっても初めて出会う人たちに自ら話しかけなければいけません。逆に誰かを助けることもあります。一人で旅をしているからこそコミュニケーションをとることの必要性や他者と関わることの喜びを痛感することができます。

私はそうした幾度かの体験を経て「私も含めて皆誰かと関わり合いながら生きていかなければならないのだな。」ということに改めて気付かされました。また普段とは違った時間の中で自分自身と向き合うこともできました。

一人で居ることを楽しめる一方で他者と関わり合うこともできる一人旅はその人自身の心を癒し確実に成長させてくれます。もしも今、私が学生に戻れたら一人旅に積極的に挑戦しそしてその経験を学生生活の中で活かしていきたいです。

今、学生に戻れたら

■短期大学部・幼児教育科
教授　S.Kumar　先生

私は、昔の学生生活のことをいろいろ考えてみました。もし、学生に戻れたらその時出来なかったことを、優先順位を付けてやりたいと思いました。中学生ぐらいの生活では運動の活動もしたかった。高校では友達関係やサンスクリット語にも力を入れたかった。大学では、宿題もたくさんして、数学や科学の知識も豊富にしたかった。NCC活動もしたかった。大学院では統計の応用的な勉強が課題でした。その時の友達に沢山支えられたけど、自分でもできることを自分ですべきでした。交流も沢山してずっとつながりを持つようにしたかった。

これからもそういう後悔がないような人生をおくりたいなと思います。

四月より、吉野嘉高先生は、現代社会学部へ異動されました。

学びの大切さ

■文学部・英語学科
十四回生（二〇〇五年卒）　岩下　詩乃

今、学生に戻れたら、日本と世界の時事経済について勉強するでしょう。現在アメリカ、ウィスコンシン州の高校で英語を教えていますが、経済についてもっと勉強していればよかったと思う事がたびたびあります。同僚の先生たちはみな知識が豊富で、いつも圧倒されています。

私のクラスでは、アメリカや世界の時事経済についてよく話し合うことが多いのですが、時々学生からの質問の答えに困る時があります。学生に戻れたら、もっと自分の引き出しを増やせるように、新聞や雑誌を読んだり、ニュースを見て情報を得ると思います。

それからもう一つ、日本の教育システムについて勉強すると思います。教育に携わるようになって、改めて日本の教育について強く興味を持つようになりました。

「学ぶ」という行為は一生続くものと思います。今、学生に戻れても、戻れなくても、常に学びの心を忘れない生活をしたいと考えています。

今、学生に戻れたら

■文学部・英語メディア学科
十八回生（二〇〇九年卒）山口　真依

大学を卒業して六年が経とうとしています。仕事で採用担当をしている為、筑女の進路支援課を訪問させていただく機会が年に数回あります。キャンパスを訪れる度に、六年前の大学生活をとても懐かしく感じ、仕事中でありながら、このまま授業を受けたり、学食を食べたりしたい気分になります。

あの頃は、今より自由に使える時間と、様々なことを学べる素晴らしい環境がありました。もっといろいろなことに挑戦し、苦手なことも諦めずに頑張れば良かった、という後悔があります。例えば英語です。英語メディア学科に在籍していましたが、今でも、恥ずかしながら英語は苦手です。大学に入る前から苦手意識をずっと持っており、英語の必須科目はもちろん履修していましたが、最低限しか勉強しておらず、卒業後はほとんど英語を使っていません。東京オリンピックが決まったこともあり、もしもっと勉強していれば、何かに活かせたかもしれない、そんなことを考えてしまいます。

後悔しても、もうあの頃には戻れません。英語の勉強も、他にやりたいことも、これから出来る限り頑張ろうと思います。今から五年後、十年後、あれをやっておけばよかったな、と後悔しないように。

一生物の『好き』を見つけたい

■文学部・発達臨床心理学科
十七回生（二〇〇八年卒）戸崎　いずみ

早いもので、私が筑紫女学園大学を卒業してもうすぐ七年になります。私は今、転勤先の札幌で、リクルート住まいカンパニーのお仕事をしています。社会の不を解消する事業を考え、まだここにない出会いを創ることが仕事です。

社会に出ると、自分という存在が社会にどれだけ貢献するかが求められます。仕事で感動したりワクワクしたり、その分プレッシャーも大きい毎日になります。

その中で自分をしっかり持って、輝きながら生きていくために、今、学生に戻れたら二つのことをやりたいですね。

それは好きなことにめいっぱいチャレンジして、一生ものの趣味を見つけること。大学の講義や先生の話を主体的に聞くことです。大学の講義にはまだ知らなかった世界を知るきっかけや、自分の幹になる部分を育てる為の気づきの場がたくさんあります。

大学生活でたくさんの自分の好きと出会って、皆様のこれからの人生がより素晴らしいものになりますようにお祈りしています。

就職して思うこと

■文学部・アジア文化学科
二十回生（二〇二年卒）假屋　ゆかり

私は大学を卒業し、福岡市内の運輸関係の企業で秘書の仕事をしております。

この仕事をしてつくづく学生時代にもっと学んでいればよかったなと感じる事があります。

それは、学科の授業だけでなく敬語の使い方・ビジネスマナー・ビジネスレターの書き方です。

秘書の仕事は社内の人はもちろんのこと、社外の方と関わる機会が沢山あります。そのため、この三点を特に注意しなければなりません。何故なら誤った使い方をすると「自分が恥をかく＝自分が付いている役員さんが恥じをかく」という事に繋がってしまうからです。しかし秘書に限らずこの三点は社会人なら誰もが身に着けなければならない基本だと思います。

学生時代は就職に向けて形ばかりの準備をしており、就職してからこの三点が如何に必要かは気にもかけておりませんでした。

就職してから思うのは、就職はゴールではなく始まりにしか過ぎないという事です。

今、学生に戻れたら将来どんな社会人に成りたいのかをもっと見据えて学びたいと思います。

今、学生に戻れたら

■短期大学・国文科
十一回生（九七八年卒）蕎麦谷　奈千子（桑原）

一九七六年四月、今現在の心を持った私は新しい環境にわくわくしながら入部するサークルに迷い、学友会や学外の行事に参加して多方面で出会えた友人を大切にもちろん勉学も頑張り、忙しくも充実した二年間を謳歌できたことでしょう。実際の二年間は積極性に欠けていたものの、それなりに自分らしく過ごした期間でしたが、振り返れば少々もったいない時間を過ごしたのではと思います。

このように気づかせてくれたのはこの原稿の依頼を受けた事と、何事にも果敢に挑戦し幅広い友人関係を築き、多少つまずきながらも充実した大学生活を送ったであろう息子から、「母さんはどんな学生時代を送ったのか」と聞かれた事です。今までの自分の来し方を考えてみるよい機会になりました。短大時代までを二つの節目、結婚、子育て、子の自立、親の介護など節目を通して、その過程の中で生じる価値観の変化や、自分の変化を受け入れ、人との出会いを大切にしながら何事にも楽しんだり、挑戦しながら感謝する心を忘れずにいきいきと暮らしていけるよう心がけていけたらと思います。

ぶらり旅に出かけたい！

■文学部・人間福祉学科
二十三回生（二〇四年卒）井上　茜

私は今年春に卒業したばかりなので学生から社会人になってまだ二年も経っていませんが、学生の方が良かったなと時々思います。

学生に戻れたら…なんて考えると様々に考えが広がるところではありますが、今学生に戻れたら一番したいことは旅行。学生の時にも旅行には時々出かけましたし、社会人になっても旅行には出かけようと思えば出かけられますが、いつ帰るかもわからないようなぶらり旅なんてできそうにないので、学生の時にぶらり旅に出かけていれば良かったと思います。旅に出るといつも見ている景色と違っていつもと違う空気に触れ、新たな発見があります。学生のうちにもっと旅に出かけていたら良かったなと思うところでありますが、今からでも遅くないと思うのでこれから様々な所に出かけたいと考えています。

今、学生の皆様には例えば旅に出る等自分でちょっとやってみたいと思ったことは少しでもやってみることをおススメしたいと思っています。

英会話を勉強したい

■短期大学・英文科
九回生（九七五年卒）伊東　好美（村田）

親元を離れ「南無阿弥陀佛…」のお経から始まり、驚きと戸惑いを覚えた一八歳の入学式でした。

あれから四十二年。今年は還暦のお祝いをする歳になりました。私達の頃は、短大しかなく、私は英文科。卒業時は英語をペラペラ喋り、英語を活かした仕事についているはずでしたが、お恥ずかしい事に英文科卒と人様に言うのも憚られるほど英会話ができないのです。（笑）だから、「今、学生に戻れたら」は、英会話を勉強したいということです。人間って不思議です。自分が過去に学んだ事や習い事をまたしたくなるのですね。

今は、四歳の孫に負けないように、英会話を楽しめるようにゴルフの〇〇君が使って学んだCDを聞いている毎日です。

入学式の時に頂いた聖典は、縁あって嫁先でも大事に使わせて頂いております。感謝！

モグちゃんのこと

■短期大学・家政科
十五回生（九八年卒）熊谷　智美（小山）

モグちゃんとの出会いは、短大に入学して常和寮で同じ部屋になった時でした。明るくて優しい彼女のおかげで、すぐに仲良しになりました。短大では学科が違っていましたが、寮では一緒にご飯を食べ一緒にお風呂に入り、落ち込んだ時は支えてもらいました。

今年の九月、モグちゃんが亡くなったことをご主人からの電話で知りました。卒業してからはお互いの結婚式の時に会ったきりでしたが、毎年の年賀状の中の彼女は、優しいご主人と可愛いお嬢さんたちに囲まれて、本当に幸せそうでした。

今、学生に戻れたら。やはりモグちゃんと同じ部屋になって、人生について語り合ったり、コンサートに行って大声で叫んだり、おいしいスイーツやもつ鍋を食べたりしたいです。

今でも私の心の中は、短大の頃の彼女の笑顔でいっぱいです。

モグちゃん、本当にありがとう。

海外留学を経験してみたい

■短期大学部・現代教養学科
四十一回生（二〇〇八年卒）田原　優美（松下）

私は今、銀行員として忙しい中でも充実した毎日を過ごしています。

銀行業務は預金や融資業務以外にも当然ながら外国への送金業務というものもあります。私が窓口で仕事をしていると外国人のお客様が来店され、外国への送金を依頼されました。英語が得意ではない上に、外国人との会話が不慣れな私は、極度の緊張で上手く対応ができませんでした。その時、私の隣にいた先輩がスムーズに会話を始め、お客様の要望を聞き取り応対してくれました。その先輩は学生の頃海外留学を経験し、今でもそこでできた友人と連絡を取り合っているとのことでした。

銀行員はサービス業である以上、どのようなお客様にも〝気持ちよく帰っていただきたいですし、〟またこの人に頼みたいと思われることにやりがいを感じます。

今、学生に戻れたら海外留学を経験してみたいと思います。そこで多くの方と交流し、言葉は違っていてもコミュニケーションを取れるような力を身に付けられると思うからです。積極的に外国人の方と会話をすることで〝どのようなお客様にも気持ちよく応対できる〟銀行員を目指してこれからも日々の業務に邁進していきたいです。

つながる命の花々

■短期大学・幼児教育科
三十二回生（九九八年卒）師冨　美由紀（調）

「袖擦り合うのも多生の縁」これは、私の結婚が決まり住職をしている叔父から頂いた餞の言葉です。私たちはどれだけの縁に気付いてその縁を生かしているのでしょうか。何気なく過ごしてきた学生時代の自分に、どんな些細な出会いも大切にと伝えたいものです。

私は、筑女の卒業生を誇りに念願の保育士になりました。元気と笑顔をモットーに楽しく奮闘しています。仕事もあそびも充実して所謂、独女を満喫していましたが、一昨年の四月に最愛の父を病で亡くしてから人生が一変しました。父から大きな命のプレゼントを頂いて新しい命を授かり、地元の幼馴染の元へ嫁ぐことになりました。八ケ月後の父の月命日に可愛い娘が誕生し、命のぬくもりや優しさを感じながら、今まで意地を張っていた私に父が導いて気付かせてくれた縁を幸せだと思い感謝の日々です。

花は咲く場所を選びません。私たちも今を一生懸命に生きる。娘の名前は〝すみれ〟と付けました。命のつながりを大切にして笑顔の花々をいつまでも咲かせていきたいものです。

～SMILE～

クラス会をしました

うら若き乙女に戻って

平成26年7月5日博多にて、幼教16回生Cクラスの同窓会を開催しました。

恩師佐伯先生を囲み、一同うら若き乙女に戻って話は尽きず楽しいひと時でした。

筑女の短大が、もう学生募集をしないとの事で寂しさも感じますが、これからも私達は筑女卒業生の誇りを忘れず前進したいと思います。

母校の発展を心より祈念しつつ、次回3年後の再会を約束して閉会しました。

紫友34号“こんにちは”の原稿を募集します。

次号のテーマは「私と社会のかかわり」～聞いてください。私の今～を予定しています。原稿は400字程度。

また、皆様の近況や思い出等お寄せ下さい。（写真やイラストも可）寄せられた原稿は原則として、返却しません。

誌面都合上、全てを掲載できない場合もありますので、ご了承下さい。（〆切平成27年12月末日）

声声声

◆今年で七年になる社会福祉活動を続けていくにあたって、学生の時に小山先生、中川先生、橘先生にご教導頂いた仏教の様々が精神的支えとなっています。時代の流れで大学も変わりつつありますが、母校のあるべき姿だけは凛として存在して欲しいと思います。
大学日本語日本文学科一回生（九九三年卒）

◆紫友を拝見し、先生方、先輩方、同窓生後輩のみなさんがお元気でますますご活躍されていることを知り、少しの間、懐かしい学生時代に戻れたような気持ちになりました。
大学日本語日本文学科一回生（九九三年卒）

◆短大の募集停止のお知らせに時代の流れとはいえ寂しさを感じますが、思えば学ぶ楽しさが佳境に入った頃には卒業が見えてくる短大生活はあまりに短く卒業謝恩会時に「大学があれば…」と橘先生に訴えたものでした。社会へ歩みだす前のかけがえのない時間を皆様がますます充実して過ごされますようお祈りします。
短大国文科十四回生（九八〇年卒）

◆石橋先生のお元気な様子に、ご活躍されていることがわかり懐かしくなりました。在学中は仏語が苦手でしたが、長女の影響でもう一度勉強しなおして、フランスに行ったりしてたのしんでいます。
短大英文科一回生（九八八年卒）

◆学校見学の機会に恵まれ懐かしい思いでまわりました。娘がいるので期待したのですが、学校も進化していて感動でした。
短大英文科十九回生（九八五年卒）

◆次の紫友が届くとき、この通信欄に一筆できるような女性でありたいと思っています。在学時代に支えて頂いた先生方、そして友人に日々感謝しています。卒業してもなお、筑女で学んでいるような心境です。
短大英文科二十回生（九八六年卒）

◆短大は二十七年度より、募集停止とのことでこれから女性のさらなる力をつける為には大学と一本化もよろしいかと思いました。
短大家政科一回生（九八八年卒）

◆短期大学の募集停止には賛成です。二年間では将来の就職等についてゆっくり考える時間もなく過ぎていったように思いました。関東地区でも多くのところが短大は既に廃止されているようです。四年間じっくりと自分に向き合い勉強して欲しいと思います。
短大家政科十二回生（九七八年卒）

◆時代の変化とは言うもののまさかの短期大学募集停止とは！淋しい気持ちでいっぱいです。あの時仲間とともに頑張った二年間のおかげでずっと子どもに関わる仕事を続けています。いつの日か母校を訪ねようと思います。
短大幼児教育科十五回生（九八八年卒）

◆保育士の資格のお知らせが「紫友」に入っていて、今考え中です。この年になって学習できるかとうかっ…と。
短大幼児教育科十六回生（九八八二年卒）

◆時代とともに改組計画は然るべきですね。しかしながら、今年大学に進学した長男を見て益々生涯学習の意欲にかき立てられました。いずれキャンパスライフを夢みる野望ができました。
短大幼児教育科二十回生（九八七年卒）

◆筑女の看板を背負ってさりげなく、静かに光る保育士目指します。保護者クレームにもめげず、反省を前進への転換にします。「紫友」ありがとうございました。「大学から送られてくる書類はどれもお手本のような文章で、学生をバックアップしている事がこの書類の数々でわかる…」と常々両親が申していました。学んだ二年間は人生において私の誇りです。がんばります。これからも。
短大部幼児教育科四十八回生（二〇四年卒）

紫友会学生支援奨学金・奨励金基金へのご協力のお願い

筑紫女学園一〇〇周年記念事業として平成十八年に紫友会学生支援奨学金・奨励金制度を発足致しました。毎年、皆様から大変多くのご協力を頂いております。心より御礼申し上げます。平成二十六年度は、奨学金を二名に、奨励金を「書道部」「筑紫女学園大学フィルハーモニー管弦楽団」の二団体に援助することができました。今後も会員の皆様のご協力を頂き、少しでも多くの支援を必要とする学生に援助が出来ればと願っております。引き続き奨学金・奨励金基金充実の為にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。同封の振込用紙「奨学金・奨励金基金」の項目に〇印をつけ、郵便振替にてご送金下さい。

奨学金を受給して

文学部　アジア文化学科
二十四回生（二〇一五年卒）

私は大学で学業に励みながら家計の負担を軽減するため、アルバイトをして学費を納めていました。しかし、私が大学三年生の秋に父が病気で亡くなってしまったため、家計が非常に苦しくなりました。私は父が亡くなった後もアルバイトで学費を納めていこうと考えていたのですが就職活動に専念するためアルバイトを辞めてしまったことから、学費を納めることが厳しくなりました。そんな時、学生課に相談し紫友会学生支援奨学金のことを教えて頂き申請しました。

大学では中国語の学習を中心に多くの知識を身に付けることができ、たくさんの検定を取得することができました。また、多くの友人、素晴らしい先生方に巡り合えて、留学生との交流、サークルに参加できとても充実した大学生活を送ることができました。

四月からは社会人として就職先も決まり、今は大学に進学して本当に良かったと思いました。今の自分があるのも全ての人のおかげ、奨学金を受給できたことに感謝しながら、悔いの残らない日々を過ごしたいと思います。

これからは、社会人として大学生活で学んだ事を活かして仕事に励み、今まで支えて下さった方々に恩返しができるように懸命に頑張りたいと思います。

今回、奨学金を給付して頂き、本当にありがとうございました。

紫友会学生支援奨励金を2団体へ授与

平成26年12月に紫友会奨励金の授与式が紫友会室にて執り行われました。

地域の方々と一体となって音楽を楽しむ事を目的として活動しています。
フィルハーモニー管弦楽団

入学式で書道パフォーマンスを披露しました。今後も披露出来る様に頑張ります。
書道部

この奨励金はクラブ、サークル活動、ボランティア活動など自主的な活動において高い目標、計画を持ち積極的に活動、実現している団体、個人を援助することを目的としています。

大学クラブ訪問　アルティメットフリスビー部

フリスビーを使った新しいスポーツ、アルティメットをご存知ですか？私たちアルティメットフリスビー部は福岡でも少ないチームのつどして活動しています。

アルティメットとはアメフトとバスケが混ざったようなスポーツで、チーム七人で行います。毎年数回、福岡や熊本などで大会が開催されています。

昨年は紫友会奨励金を頂くことができ、より多くの大会、イベントへ参加することができるようになりました。本当にありがとうございました。

私たちチームが所属する日本アルティメット協会全日本大学連盟九州支部では今年、まだまだ知られていないアルティメットの魅力を九州の他大学にも伝えようという目標を立てています。他大学へ新しいことを勧めることは難しいですが、他団体との協力のもと、努力しています。

支援して頂いている方々のご期待に添えるよう、感謝の気持ちを忘れずこれからも努力していこうと思います。今後とも宜しくお願いします。

職域訪問　同窓生へ一言

株式会社デンソーセールス九州支社
井上美帆（生活学科四十回生）

九州支社は、自動車部品を中心に住宅設備分野、工場やオフィスの省エネ・省力化を提案しています。私の所属している部署では沖縄を含めオール九州のディーラーや修理電機店からナビゲーションやETC、自動車をはじめ冷凍機やバスのエアコンの部品受注を主に担当しています。

エアコンが効かなくなりメカニックが診断をした後、車の情報からどの品番が必要かをカタログを見ながら特定をしていきます。

現在ではハイブリッド車も増え、使われている製品の変化にも対応できるよう日々勉強しています。

繁忙期である夏場は特に迅速かつ丁寧な対応を心がけ、できる限り短納期で修理が完了し快適に乗車して頂きたいという気持ちで業務に励んでいます。また、弊社のエアコンを乗せた西鉄バス、観光バスを見かけると少しでも早く多くのお客様に利用して頂けるよう一層業務に力が入ります。

これからも弊社の掲げている「現場で知り常に考える」を心得て精進していきたいと思います。

左から**本山由佳理**（2003年卒英文37回生）、**井上美帆**（2006年卒生活40回生）、**時松綾香**（2013年卒現教47回生）、**馬場尚織**（2009年卒現教43回生）

2015（平成27）年度 前期 筑紫女学園大学　公開講座（受講料無料）

“ともいき（共生）”～あらゆる存在とのつながりの中で生かされていることへの目覚め～

	講座名	講師等	日時
体験講座	音楽と自然によるともいき ～ガムラン・ワークショップと“筑女の森”自然観察～	田村史子(文学部准教授) 廣永輝彦（地域環境計画九州支社） サプトノ（インドネシア国立芸術大学ヨグヤカルタ校教授） 主催：アジア文化学科	①4月26日(日) ②7月12日(日) 各10:00～15:30 (12:00～13:30昼食)
公開講座	江師・大江匡房の太宰府詠①	赤塚睦男（現代社会学部教授）	5月9日(土) 14:00～17:00
公開講座	イヌと幸せに暮らす方法入門	福島みゆき（犬のしつけインストラクター） 後藤　治（獣医師） 佐々木 浩(短期大学部教授)	①5月9日(土) ②5月16日(土) 各9:30～12:30
公開講座	第18回 仏教文化講座「インドの宗教」 ①現代インドの宗教事情 ②初期仏教 ③大乗仏教 ④ジャイナ教 ⑤ヒンドゥー教	①川尻洋平（人間文化研究所） ②中川正法（人間科学部教授） ③小林久泰（文学部准教授） ④宇野智行（文学部准教授） ⑤川尻洋平（人間文化研究所） 主催：仏教学研究室	①6月3日(水) ②6月10日(水) ③6月17日(水) ④7月1日(水) ⑤7月8日(水) 各19:00～20:30
公開講座	アジア塾「戦後日韓の文化と経済交流」 ①日韓経済関係50年 ②K-DoramaとK-Pop ③ドキュメンタリーの向こう側	①裵海善（文学部教授） ②金智淑（LoveFMのDJ、韓国語講師） ③東 志津（ドキュメンタリー映画監督） 主催：アジア文化学科	①6月20日(土) ②6月27日(土) ①②13:00～15:00 ③7月4日(土) ③10:30～12:30
公開映画会	ドキュメンタリー映画「美しいひと」 上映と監督トーク	東 志津（ドキュメンタリー映画監督）	7月4日(土) 13:30～16:30
体験講座	こころのオシャレ教室　～押し花で遊ぶ～	板井修一 (人間科学部教授、臨床心理士、園芸療法士)	①6月6日(土) ②6月13日(土) ③6月20日(土) 各10:00～12:00
公開講座	文学と南(2)―2015延言オキナワ ①メディア ②司法 ④文学	コーディネーター：松下博文（文学部教授） ①野沢俊司(毎日新聞社編集局長) ②照屋常信(元那覇司法裁判所所長) ③山里勝己(琉球大学名誉教授・現名桜大学学長) 共催 野田宇太郎文学資料館(小郡市立図書館) 沖縄を語る会	①6月13日(土) ②6月20日(土) ③6月27日(土) 各14:00～16:00
公開講座	親子で楽しむ「表現遊び」	吉川暢子(短期大学部講師) 三池静子(短期大学部特任講師)	①6月14日(日) ②6月28日(日) ③7月12日(日) 10:00～12:00(全3回)
公開講座	気になる子の理解と支援 ①気になる子の理解 ②行動をどう見て変えていくか ③感覚を考える	酒井　均（人間科学部教授） 主催：人間科学科人間関係専攻	①7月4日(土) ②8月1日(土) ③9月12日(土) 各14:00～16:00
公開講座	エコラベルって何？ー環境とビジネスー	コーディネーター：佐々木浩（現代社会学部教授） 山内愛子（WWFジャパン自然保護室水産プロジェクトリーダー） (株)イオン　エコラベル担当者(グループ環境社会貢献部) 藤原隆信（現代社会学部教授） 村上佳世（現代社会学部講師） 主催：現代社会学部(2015年開設)	7月11日(土) 13:10～17:10
公開講座	体験しよう！教育・保育の実際 ①粘土を使った造形遊びを楽しもう ②楽しい音楽遊び	①一木信治（人間科学部准教授） ②北原幸子（人間科学部准教授） 主催：人間科学科人間形成専攻	①9月12日(土) ②9月19日(土) 各10:00～12:00
公開演奏会	九州ユース合唱団演奏会 ～ともに生き、ともに歌う～	松原子振 （東京混声合唱団正指揮者、元フィンランド放送室内合唱団指揮者） 今釜　亮（短期大学部講師）	9月22日(祝・火) 14:00～16:00

生涯学習センター

筑紫女学園大学

筑紫女学園大学・短期大学部ホームページ>>>　http://www.chikushi-u.ac.jp/

お申込み・お問合せ　〒818-0192 福岡県太宰府市石坂2丁目12-1
TEL：(092)925-9685　FAX：(092)925-8319
E-mail：gakushu@chikushi-u.ac.jp

■お申込み方法

八月中ＦＡＸ・Ｅメールまたは本学ホームページより

＊お申し込みの際は、①受講希望講座名②氏名(フリガナ)③郵便番号④住所⑤電話番号・FAX番号をご記入ください。
＊定員に達した場合は、締切りとなりますのでご了承下さい。
＊お預かりした個人情報は適切に管理し、公開講座運営以外に使用することはありません。

学園だより

学園ホームページ http://www.chikushi.ac.jp

図書館課

図書館ホームページアドレス
http://www.lib.chikushi-u.ac.jp/

卒業生の皆様も図書館の本の利用ができます。
「図書館利用者証」を発行しますので、身分証明書（運転免許証、健康保険証など）をご持参ください。
なお、開館日・利用時間は本学図書館ホームページカレンダーにて確認ください。

■開館日・利用時間：【原則】平　日　9:00−19:30
土曜日　9:00−14:00（原則第2・4土曜）
※学校行事や定期試験・休暇中など開館日・開館時間が変則になることがあります。
※来館前に、お問い合わせ・お確かめの上お越しください。

■利用者証発行手数料：400円(4年間有効)
※1号館1階の証紙券売機で証紙をお買い求めの上、8号館図書館カウンターで手続きください。

■貸出冊数・貸出期間：3冊以内　（15日間）

教務課

http://www.chikushi-u.ac.jp/graduation/index.php
【お問い合わせ先】教務課 TEL092(925)3514

卒業証明書・成績証明書等の申込みを受け付けています。申込の詳細は本学園ホームページ「卒業生の方へ」にてご案内しています。
＊ 学力に関する証明書など特別な証明書は発行に2週間程度かかります。早めのお問い合わせをお願いします。
＊ 夏季休業：8月11日(火)～16日(日)
＊ 年末受付：～12月25日(金)
＊ 年始受付：1月6日(水)～
＊その他、平日の休業日についてはホームページでご案内しています。

本学園ホームページ
大学・短期大学部
卒業生の方へ
「証明書発行について」

実習支援センター

●教員免許状更新講習のご案内

幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員を対象とした講習を実施しています。詳細は、6月頃本学ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

●東日本大震災における学生ボランティア活動についてお願い

実習支援センターでは、宗教教育部やその他の関係機関とともに学生のボランティア活動に係る支援を行っています。学園のホームページやメディア報道でご存知のとおり、東日本大震災の被災地において本学在学生がボランティア活動を行っています。これまでに、14回160名程度の学生が活動に参加し、今後とも継続して行う予定です。同窓生からのご支援を何卒よろしくお願い致します。

「大船渡夢市」で梅が枝餅を振舞いました。

「震災ボランティア支援金」
金融機関：ゆうちょ銀行
店　　名：七四八（ナナヨンハチ）
店　　番：748
預金種目：普通預金
口座番号：0793709
口座名義：筑女ボランティアネット（チクジョボランティアネット）

【お問い合わせ先】実習支援センター TEL092(925)9578
※お振込みの前に上記問い合わせ先にご一報いただけると幸いです

卒業生のための学びのかたち

●大学院　人間科学研究科　人間科学専攻　修士課程（男女共修）
時代が求める総合力　ー高度な知識と実践的応用力の育成ー

＊卒業生だけの優遇制度＊
●短期大学卒業者も卒業後、2年以上の社会経験がある方は、出願可能です。学びを深めるチャンスが広がります。
●本学卒業生には、大学院の入学金相当額を給付します。経済的な負担を軽減できます。（筑紫女学園大学大学院進学奨励金）

●社会人特別入学試験
学ぶ意欲のある社会人を受け入れる制度です。正規学生として深く専門的に学びたいという気持ちに応えます。

●編入学試験　短期大学・大学を卒業された方等を対象とし、3年次に編入学する制度です。
※2015年度入試より「ネット出願」をスタートいたしました。
入試要項等は本学ホームページにてご案内しています。

【お問い合わせ先】入試課 TEL 092(925)3591

●科目等履修生・聴講生受け入れ制度
興味のある科目を受講し、単位認定される「科目等履修生制度」、単位の修得を希望しない「聴講生制度」があります。生涯学習の場として、学ぶ気持ちを支援します。

【お問い合わせ先】教務課 TEL 092(925)3514

●仏教専修課程・浄土真宗本願寺派教師（住職）資格課程
福祉・家族・いのちの問題について考えたい、仏教の思想・文化・美術に関心がある方のために「仏教専修課程」を設けています。さらに「浄土真宗本願寺派教師（住職）資格課程」を履修されると、教師教修所への入所資格が得られます。
【お問い合わせ先】学生課 TEL092(925)3515

社会に出て新たに学びたい、改めて学びたいという気持ちにお応えしたいと思っています。ぜひお問い合せください。

進路支援課

天神キャリアセンター

●卒業生と在学生の就職活動をサポートします
●進路選択のプロがキャリア形成をバックアップします
●臨床心理士が就職活動中のメンタル面のケアもします

【場　所】福岡市中央区天神1-15-6
綾杉ビル7階（アクロス福岡前）
【業務時間】月曜日～金曜日
10時～18時（祝休日を除く）
【お問い合わせ先】天神キャリアセンター TEL092(715)0340

☆大学・短大主な内定先一覧　（平成26年度　順不同）

●一般企業

三井住友銀行	あいおいニッセイ同和損害保険	新日鐵住金
三菱東京UFJ銀行	ANA成田エアポートサービス	新日本製薬
みずほフィナンシャルグループ	ANA関西空港	正晃
福岡銀行	ANA福岡空港	積水ハウス
西日本シティ銀行	JALスカイ	大正富山医薬品
佐賀銀行	JALスカイ九州	タカクラホテル福岡
筑邦銀行	カタール航空	長府製作所
福岡中央銀行	九州旅客鉄道	日田キヤノンマテリアル
北九州銀行	JTB九州	プロダクション・アイジー
楽天銀行	アイ・ケイ・ケイ	マイナビ
飯塚信用金庫	イオン九州	三井食品
日本郵政グループ	イズミ	ヤマエ久野
楽天カード	九州日野自動車	吉野石膏
JAグループ	九州三菱自動車販売	ヨネックス
SMBCフレンド証券	コカ・コーラウエスト	ワコール

●教員・公務員

福岡県中学校教員	福岡県小学校教員	横浜市小学校教員
熊本県中学校教員	福岡市小学校教員	福岡県警
北九州市中学校教員	大分県小学校教員	鹿児島県警
大阪府中学校教員	東京都小学校教員	大阪府警

●医療・福祉関係

飯塚病院	城南福祉会	蘇生会総合病院
上横山保育会	新水巻病院	年長者の里
寿泉会	創生会	徳洲会病院

●専門職（幼稚園・保育園）

アソカ幼稚園	千里保育園	水天宮保育園
エルアン幼稚園	筑紫女学園大学短期大学部附属幼稚園	青葉桐の花保育園
賀来保育園	三井幼稚園	ぽっぽ幼稚園
きりん幼稚園	永福寺幼稚園	筑水学園
けご幼稚園	第二光和保育園	天照幼稚園
さくら保育園	玉川保育園	りんでん保育園
サルナートの森幼稚園	高良内幼稚園	福岡市（保育士）
しあわせの星保育園	三葉幼稚園	太宰府市（保育士）
白水学園	久山療育園重症児者医療療育センター	宇美町（保育士）
すばる保育園	浄徳寺幼稚園	基山町（保育士）

※ほか、多数（紙面都合上、一部掲載）

学習支援センターがオープンしました

昨年9月、4号館図書館を改修して図書館内にラーニングコモンズ（学びの共有空間。通称:CJコモンズ）を設け、図書館・学習支援センターとして生まれ変わりました。

CJコモンズは、授業はもちろん学生同士の話し合いや発表など、アイデア次第で様々な活用ができる開かれた学びの空間です。

今後は、教職員とともに学生のスタッフも運営に参画し活発に活動を展開する計画です。

訃報　高山和雄先生 26年10月（元英語学科・人間福祉学科特任教授）